

(公社)須賀川労働基準協会活動実績(令和5年度分)

(令和5年4月～令和6年3月の活動)

1. 令和5年4月～令和6年3月の活動の活動概況

令和5年度の活動として、まず報告すべきは「福島県産業安全衛生大会」を10年ぶりに須賀川市で開催したことであります。会員事業場のみなさんの協力をいただき、県大会開催地の労働基準協会の責務を果たすことができました。同日午前中には須賀川地区産業安全衛生大会を開催いたしましたので、参加された事業場のみなさんには丸一日ご協力をいただきました。

安全衛生大会以外の「総会」「説明会」「研修会」も予定通り開催することができました。また、教育講習についても、当初の事業計画以上に実施することができ、受講者も増加し、公益社団法人としての役割を果たすことができたと、自負しています。

2. 【事業別の活動】

2-1. 公益事業1 労働関係法の啓蒙等、安全衛生活動の推進に関する事業

(1). 福島県産業安全衛生大会・須賀川地区産業安全衛生大会の開催

10月5日須賀川文化センターで福島県産業安全衛生大会と須賀川地区安全衛生大会を開催いたしました。

県大会では下記の方々が表彰されております。

福島労働局長賞奨励賞	株式会社 石川製作所 殿
福島労働局長賞功績賞	神田 雅彦 殿
福島労働基準協会会長賞	吉田 智仙 殿 (産業安全)
福島労働基準協会会長賞	木戸 仁 殿 (労働衛生)

須賀川地区産業安全衛生大会では下記の方々が表彰されております。

優良事業場(安全)	三進金属工業株式会社 福島工場 殿
優良事業場(安全)	荒牧建設株式会社 殿
優良事業場(安全)	有限会社 鈴木造園 殿
優良事業場(衛生)	夢みなみ農業協同組合 殿
優良事業場(衛生)	株式会社 福島明工社 殿
功績者賞(安全)	13名
功績者賞(衛生)	8名

(注) 県大会は主催が福島県労働基準協会であり、当協会として「公益事業」との位置づけではありませんが、須賀川市での開催で、須賀川労働基準協会としても県協会に協力しておりますので、令和5年度は公益事業として報告させていただきます。

(2). 各種説明会及び研修会の開催

「安全週間実施説明会」	6月 9日	実施	(54名)
「衛生週間実施説明会」	9月 5日	実施	(46名)
「労務研修会」	11月14日	実施	(50名)
「労災研修会」	3月26日	実施	(43名)

(3). 事業目的推進のため広報活動

- ① 協会だよりの発行 — 6月・12月に発行(執行体制紹介・監督署長新任挨拶・大会の報告)
- ② 協会通信の発行 — 毎月発行し、活動状況や法改正、監督署情報等の広報を行った。
- ③ ホームページの更新 — 随時実施(講習会の案内、活動報告、各種情報の提供)
福島労働局・須賀川労働基準監督署からの情報を掲載・更新しており、情報量が多い。タイムリーで豊富な情報提供ができるツールであり、今後とも継続・充実を図る。
- ④ 「安全標語」の募集と標語印刷及び配布 — 5月募集、7月に会員事業場へ配布

(4). 労働安全衛生行政(福島労働局及び須賀川労働基準監督署)との連携・協力

- ① 協会通信及びホームページで、労働局及び監督署からの情報を掲載し、事業場の安全活動に供した。福島労働局からの連携が強化され、月初の労働局からの情報提供を受け、毎月上旬の須賀川労働基準協会ホームページでの情報提供を実施。
- ② 例年の活動では、労働局主催の労働災害防止団体連絡会や県中保健福祉事務所主催の県中圏域職域連絡会議、また須賀川地域産業保健センター主催の会議などに出席している。得られた情報は「協会通信」および協会HPにて、掲載している。

(注) 下記「3 その他:法人としての活動」で再掲

2-2. 公益事業2 労働安全衛生に関する講習会及び研修会の開催に関する事業

令和5年度の教育講習事業の受講者数のは増加し、収入面でも大幅な増加をもたらし、良好な結果であった。講習受講者数の推移は別紙のとおりであるが、5年度の特徴と教育講習事業に関する今後の課題は下記のとおりである。

- ① 5年度の受講者数の増加の主要因はテールゲートリフター、化学物質関連の新たな講習の開催と事業場単体の教育講習の実施にあった。6年度以降も継続できるか。
- ② 従来教育講習の柱であった技能講習の「玉掛」「床上操作式クレーン」「ガス溶接」は長期的には受講者数が減少傾向にあり、収入の安定的確保の面から懸念がある。
- ③ 講師が高齢化しており、講師の若返り、確保が課題となっている。

(1) 技能講習に関する講習 「計7回実施」

- | | | |
|---------------|--------|--------------|
| 玉掛技能講習 | (3回実施) | (受講者少なく1回中止) |
| ガス溶接技能講習 | (2回実施) | |
| 床上操作式クレーン技能講習 | (2回実施) | |

(2) 労務管理及び安全衛生特別教育に関する講習

職長教育・安全管理者選任時講習・安全衛生推進者教育・アーク溶接講習・有機溶剤作業教育・リスクアセスメント教育・新入社員教育等の講習を実施した。

上記の講習に加え、「テールゲートリフター」「化学物質管理者」「保護具管理者」の講習が加わり、受講者数の増加につながった。

(3) その他 教育講習全般に対して

上記概況の①～③の課題を解決するため、関係者からアドバイスをいただき、情報収集を行い具体的検討を進めたい。

2-3. 収益事業 安全衛生管理関連図書及び設備等の斡旋、共同購入に関する事業
「安全週間」「衛生週間」「年末年始」「新年度」等の安全衛生活動の時期に
ポスター、安全用品、図書等の紹介斡旋及び販売を行った。

2-4. その他事業1 労働保険事務業務

労働保険事務業務を受託し、労働保険、雇用保険関連業務を遂行。
雇用保険資格取得及び喪失の業務(随時)、労働保険料納付処理(年3回)他

2-5. その他事業2 会員交流・福利厚生に資する事業

(1) 事業場が実施する定期検診の実施機関の斡旋、紹介。

「福島県労働保健センター」及び「郡山病院」と連携し、事業場の健康診断
検診機関の紹介等 事業場の健康診断実施をサポートする事業。

(2) 福島県労働基準協会及び県内各地区基準協会との連携・協力

- ① 令和5年度 福島県安全衛生大会が10年ぶりに須賀川市で開催された。一前述一
- ② 定例の連絡会として例年2回開催されており、各協会の情報提供を受け、須賀川
労働基準協会の活動面で参考になっている。

3. 【その他:法人としての活動】

(1) 行政及び地域との連携

① 「福島労働局:労働災害防止団体会議」参画

労働局の基本方針の説明を受け、協会活動と行政の連携を強化する機会であり、各種の情報提供を受けている。「協会通信」「協会ホームページ」にとって大事な情報源である。

令和5年度は「第14次労働災害防止中期計画」(5年間)の初年度であった。

② 「県中地域職域連携協議会」参画(県中保健福祉事務所との連携)

地域の健康増進に関して、その活動を広報面で協力した。

一方、「衛生週間説明会」等で保健福祉事務所から講師派遣もお願いしている。

③ 「須賀川地域産業保健センター運営協議会」参画

須賀川地区の小規模事業場の健康管理促進活動に協力した。

(2) 会員事業場からの労働問題等の相談対応

会員事業場から問い合わせがあった場合など、監督署や職安に内容を相談し
それに基づき、回答をさせてもらっている。

(3) 公益社団法人として「定期報告書」の提出及び「業務監査」を受診

公益社団法人の定期報告は通常下記の3件があるが、いずれも提出している。
令和5年度は監督官庁からの「監査」はなかった。

① 3月末提出 : 次年度の活動計画及び予算

② 6月末提出 : 前年度の活動実績及び決算

③ 通常7月提出 : 理事の変更登記と変更届

④ 3年に1度の「労働保険事務組合」の業務監査

⑤ 3年に1度の「公益法人」の業務監査

以下に毎月の活動記録を掲載いたします。

2. 毎月の活動および今後の活動計画

月	日	活動内容	備考	人数等
4月	11	協会会計監査	協会会議室	監事(鈴木・渡辺) 事務局:大倉・柳沼
	14	新入社員研修会	☆ LIXIL研修センター	35人
	17	福島労働局 井口局長着任のご挨拶	協会	神田会長・大倉
	18	理事会(年度まとめと総会へ向けて)	労働福祉会館	理事・監事
	20	フルハーネス安全帯講習会	☆ 神田産業	21人
	27	足場組立教育	建設業会館	28人
5月	15	福島県 労働基準協会会計監査	福島市	大倉
	18	玉掛け技能講習(18日・19日・21日)	☆ 市民温泉・三瓶重機	13名
	23	福島県労働基準協会総会	福島市	神田会長 大倉
	25	須賀川労働基準協会総会	ベルクイーンズ	懇親会も開催
	26	労働保険事務組合総会	郡山市	柳沼
	29	職長教育講習会(29日・30日)	☆ LIXIL研修センター	30名
	31	足場組立講習	☆ 神田産業	12名
6月	8	RST須賀川監査	協会会議室	RST監事・大倉
	9	全国安全週間説明会	LIXIL研修センター	53名
	14	安全管理者選任時研修(14, 15日)	☆ LIXIL研修センター	11名
	19	RST役員会	協会会議室	RST須賀川役員
	-	RST須賀川総会		<文書決済方式>
	22	床上操作式クレーン講習(22日、23日、25日)	☆ 市民温泉・ヒロセ	13名
	29	安全標語応募事業場訪問	標語応募事業場	大倉
	30	公益法人定期報告書を県へ提出(年3種類)	福島県	事務局
7月	1	安全週間(7/1~7/7)	各事業場	ポスター等掲示
	5	職員の健康診断(5日、7日)	労働保健センター(郡山)	
	13	化学物質取り扱い講師育成講習(13日、14日)	仙台	講師候補者
	13	役員登記	福島地方法務局	事務局
	20	玉掛け技能講習(20日・21日)実技・23日	☆ 神田産業・三瓶重機	18名
	25	化学物質取り扱い法令改訂説明会(監督署:山野監督官)	LIXIL研修センター	73名
	26	事務組合研修会 参加	郡山	柳沼
	27	交通誘導員教育	☆ 須賀川市労働福祉会館	21名
	29	ガス溶接技能講習(実技30日)	☆ 市民温泉・三瓶自動車	13名
8月	4	RST須賀川 須賀川市発注の工事パトロール		RST須賀川
	8	職長教育(製造)(8日、9日)	☆ LIXIL研修センター	21名
	24	県安全衛生大会の打ち合わせ	須賀川文化センター	局・署・県協会
	25	リスクアセスメント講習(事業場単独開催)	☆ 事業場会議室	18名
	28	理事会	労働福祉会館	理事・監事
	29	職長・安責者教育(建設)(29,30日)	☆ 神田産業	5名
9月	9	衛生週間実施説明会	LIXIL研修センター	46名
	15	フルハーネス講習会	☆ 神田産業	19名
	16	県大会 会場下見と打ち合わせ(文化センター)	文化センター	12名
	26	石綿解体特別教育	☆ 管工事組合会館	15名
	27	リスクアセスメント講習	☆ LIXIL研修センター	15名
10月	5	須賀川地区産業安全衛生大会	文化センター	86名
	5	福島県産業安全衛生大会	須賀川市	86名
	12	玉掛け技能講習(12, 13, 15)	☆ 神田産業・三瓶重機	10名
	18	化学物質管理者講習に準ずる講習	☆ LIXIL研修センター	26名
	26	床上操作式クレーン技能講習(26,27,29)	☆ 神田産業・ヒロセ	16名

11月	6	テールゲートリフター講習	☆	労働福祉会館	49名
	7	職長教育(製造)・(7,8日)	☆	LIXIL研修センター	28名
	12	職長・安責者能力向上教育(事業場単独)	☆	市民温泉	15名
	14	労務研修会		LIXIL研修センター	50名
	21	職長・安責者教育教育(建設)(21、22日)	☆	LIXIL研修センター	11名
12月	4	化学物質法規制改正説明会(福島労働局主催) 参加		郡山市 星病院	大倉
	6	テールゲートリフター講習(事業場単独)(2日間)	☆	事業場会議室	各20名
	11	安全衛生推進者講習(11日、12日)	☆	神田産業	17名
	14	アーク溶接講習会(14日、15日)	☆	神田産業	15名
1月	11	安全祈願祭、役員会		神炊館神社・虎屋	23名
	18	保護具管理者講習	☆	LIXIL研修センター	29名
	19	化学物質取り扱い説明会(須賀川市)		須賀川市文化センター	大倉参加
	25	有機溶剤作業講習	☆	須賀川市民温泉	7名
	27	ガス溶接講習(27日、28日)	☆	市民温泉・三瓶自動車	8名
	29	テールゲートリフター講習	☆	須賀川市民温泉	42名
2月	2	テールゲートリフター講習(建設業関係)	☆	LIXIL研修センター	28名
	8	テールゲートリフター講習	☆	須賀川市民温泉	48名
	9	クレーン特別教育(事業所単独)(9日16日)	☆	事業場研修室	22名
	21	職長教育(製造)(21日、22日)	☆	LIXIL研修センター	15名
	27	リスクアセスメント講習	☆	LIXIL研修センター	11名
3月	5	理事会(事業計画・予算)		須賀川市民交流センター	
	8	化学物質管理者講習に準ずる講習	☆	LIXIL研修センター	22名
	14	玉掛け技能講習(14日、15日、17日)	☆	市民温泉／三瓶重機	中止
	25	労働局防災団体連絡会／県協会連絡会議		福島市	大倉・柳沼・近内
	26	労災研修会		LIXIL研修センター	43名
	31	令和5年度の締め / 公益法人定例報告		福島県へ	

広報関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協会だより「6月:総会」「11月:安全大会」など ・ ホームページ適宜更新。 ・ 協会通信「原則毎月発行」(①活動状況 ②局・監督署からの情報、③講習会案内など)
------	---

(注) 網掛けの活動は 組織全体に関係する活動 : 概ね公益事業Ⅰの事業
☆印の活動は「教育講習」の活動 : 公益事業Ⅱの事業